

第 55 回 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 廃炉等技術委員会 議事要旨

日時：2023 年 10 月 12 日(水) 16:00～18:00

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 会議室

1. 技術戦略プラン2023について

機構から技術戦略プラン 2023 本文案について、前回の議論を踏まえて主に前回からの変更箇所について説明を行った。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり。

- 本文のまとめ方について、リスクに見合わない過剰な安全対策を避けて、理にかなった安全対策を講じるグレーデッドアプローチの手法に基づいた内容となっているので、来年度以降はその旨を明示的に記載するべきではないか。
- 現行のいろいろな作業や取り組みについて一度振り返りを実施し、改善項目等についてまとめることが肝要。
- ALPS 処理水や希釈水という用語の定義について適切な使い方を整理する必要があるのではないか。
- 第 7 回廃炉国際フォーラムにおいて、TMI 2 での経験を踏まえたスキルマン氏からの 1F 燃料デブリ取り出しに関する意見については 1F 廃炉作業を進める上でも非常に参考となる示唆を得られたと思われることから、必要性に応じて来年度の戦略プランへ反映していただきたい。
- 1F 廃炉作業を貫徹する為にはサステナビリティ（持続可能性）が非常に重要と思われる。廃炉作業は非常に長い期間をかけて行うプロジェクトなので、東京電力はたゆまず持続していくことということをややはり念頭に置いて取り組むことが重要である。
- 国際的な理解・協力は今後更に必要となる。国際的なコンセンサスである環境への配慮に関して言及をしておくべきではないか。

委員からの意見を踏まえた修正については、委員長一任の上、技術戦略プラン 2023 を策定・公表することについて同意がされた。

2. 廃炉等積立金の取戻しに関する計画の作成方針について

機構から、廃炉等積立金の取戻しに関する計画の作成方針（以下「取戻し計画の作成方針」という。）案について、主に以下のとおり説明した。

- 廃炉等積立金の取戻しに関する計画を作成するに当たり、（1）取戻し計画に盛り込むべき作業及び（2）特別に考慮すべき事項を提示する。
- 特別に考慮する事項は次のとおりである。
 - ①ALPS 処理水の処分について、②オーナーが有すべき能力の強化、③人材の確保・育成、④燃料デブリ取り出しに向けた目標の達成、⑤廃棄物対策の目標の達成、⑥東電 HD が主体となった研究開発

の推進、⑦地域との共生、⑧自然災害等のリスク及び経年劣化リスクへの対応について、⑨分析体制の強化、⑩予算計画の精度向上

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり。

○人材の確保・育成については、量と質の確保をどうしていくのかが肝要となるので、NDF の関与を強化するべきである。

委員からの意見を踏まえた修正については、委員長一任の上、取戻し計画の作成方針を東京電力に提示することについて同意がされた。

4. 廃炉への取組状況について

東電より ALPS 処理水処分の状況、1号機ペDESTALの状況を踏まえた今後の対応、2号機燃料デブリの試験的取り出しについて説明があった。

以上